

麻衣の笑顔 顔が見たくって!!

酒井麻衣ちゃん12歳に初めて出会ったのは昨年11月、市内に始めての施設「児童デイサービス「いちご」」での開所式でした。

麻衣ちゃんは3歳で、医師から自閉症と診断されました。社会性や他者とのコミュニケーション能力の発達が遅延する発達障害の一種で、

先天性の脳機能障害です。日本での患者数は36万人から120万人と推測されます。

生まれる我が子の幸せを願う気持ちは、親にとつては当然の願いです。明るく前向きな子育てを実践する母

親の酒井美千子さんに、障害を持つ我が子の子育てを手に記らせていただきました。

出生

平成7年6月、祖父母、両親、3歳年上の姉の6人目の家族として麻衣は誕生しました。3歳で「自閉症」と診断を受け、障害児の親となりました。自閉症障害にもいろいろ



卒業おめでとう

3月18日大富小学校を卒業した酒井麻衣ちゃん

いろいろな方がいると思います。娘は初めての人や場所、人の大勢集まる行事や大きな音などに苦痛を感じたり、毎日同じパターンで生活したいとのこだわりを強く持っています。言葉で気持ちを表現することが苦手で、自分でつらい気持ちになった時は大声で泣いたり、暴れたりするパニックを起こして気持ちを表現します。

子育て

12年の子育てを今と比べては懐かしいと思えるようになりまし。1歳半を過ぎた頃から長女の時と違う不思議な行動や、毎日必ず同じ散歩コース、おもちゃを毎日同じように一列に並べる、発語もなく家族との関わりも抵抗する麻衣に、私達夫婦は小さな不安を持ち始めました。「個人差ですよ」の一言が聞きたくて、良いといわれる情報を耳にすると主人も会



母親の酒井 美千子さん

社を休み、3人で松戸の方まで走り回っていました。「麻衣の成長は他のお子さんに追い付きませんか」と医師に尋ねると「麻衣ちゃんもいつばい成長するけれどもお友達も成長するんですよ」とのお返事、私たちの小さな不安はその日「障害」の二文字になりました。「自閉症」とはつきり診断を言われた頃にはショックと言うよりも、この子

入園・入学

保育所に通い始めると集団生活も苦手でパニックの他にも、一晩でハゲる程髪の毛を抜いてしまったり、真冬の夜中に排泄物を壁一面に塗ってしまい主人とたわしで洗い流したこともありました。保育所の試行錯誤のご指導のおかげで卒園時には保育所生活を楽しめる我が子の姿がありました。

この頃、目も手も離せないかかったのを覚えています。「子育ては千倍の努力が必要かもしれないけど、選ばれたお母さん一緒にがんばろうね」と励まされました。しかしこの頃、目も手も離せない

体も大きくなり就学時期を迎える頃、場所や人目も気にせずパニックが起こる麻衣に「わがままな子!!」しつけの悪い子!!との視線や声を目にするようになりました。